

宮城大学研究ジャーナル／Miyagi University Research Journal

2021 年 第 1 巻 第 1 号／Vol.1 No.1 2021 ISSN 2436-374X

001 ―― 創刊に寄せて

川上伸昭

002 ―― 巻頭言

風見正三

原著論文

003 ―― 宮城県 A 町の住民の認知症への印象

萩原潤, 桂晶子, 成澤健, 出貝裕子, 徳永しほ, 中込沙織, 菅野諭志, 大塚真理子

011 ―― 壮年期住民の歯科保健行動に関連する要因 ―A町住民健康意識調査の分析から―

坂東志乃, 佐藤泰啓, 鈴木智美, 二瓶映美, 安齋由貴子

021 ―― 東日本大震災後から継続実施してきた被災地での健康支援活動の評価と中長期支援のあり方

菅原亜希, 佐々木久美子, 霜山真, 真覚健, 山田嘉明

031 ―― 妊娠期の初産夫婦に対する産後クライシス予防プログラムの開発と有用性

塩野悦子, 大久保功子, 山田嘉明

042 ―― 女子高校生に対する月経セルフケアへの健康教育プログラムの効果の検討

桑名佳代子, 鹿野裕美, 三井幸恵

054 ―― 認知症ケアに携わる専門職を対象とした連携力強化を目指した研修プログラムの評価

出貝裕子, 大塚真理子, 中込沙織, 成澤健, 徳永しほ, 桂晶子, 萩原潤, 國澤尚子, 丸山優, 畔上光代, 横道弘道, 斉藤文子

総説論文

063 ―― 組織におけるダイバーシティ・マネジメント構築に向けての基本的視座 ― LGBTQ を包括した人的資産フローの有効性―

櫻木晃裕

073 ―― 虚血性心疾患患者に対する面談を含むモバイルアプリケーションを用いた介入効果に関する系統的レビュー

菅原亜希, 吉田俊子

087 ―― Language Teacher Identity: Historical Perspectives, Philosophical Frameworks, and Research Directions for Japan

Matthew Nall

報告

098 ―― 2020 年度総合実習（成人）における遠隔形式によるシミュレーション実習の展開と評価

齊藤奈緒, 霜山真, 菅原亜希, 松永雄至

107 ―― 養護教諭教育課程における災害支援に関する教育内容の検討 ―東日本大震災のフィールドワークを通して―

相楽直子, 菱沼ゆう

116 ―― 東日本大震災後から継続してきた健康支援活動に参加したボランティア看護学生の体験

霜山真, 菅原亜希, 真覚健, 山田嘉明, 高橋和子, 佐々木久美子

124 ―― 標札プロジェクトから見て取れるデザインが果たす役割 ―高度な実学教育における文化環境デザインの実践―

伊藤真市

138 ―― 東北太平洋沿岸被災地の復興と再生（長距離自然歩道の福島海岸延長に関する試論）

小沢晴司

146 ―― 急性白血病と診断された高齢者の診断から初回化学療法終了までの心理プロセス

阿部愛子, 竹田春美, 佐々木理衣, 高子利美

154 ―― 薬学生との模擬事例検討会に参加した看護学生における専門職連携教育の効果

菅原よしえ, 井村紀子, 木村三香, 成澤健, 大塚真理子

162 ―― 運営方法の転換による認知症カフェの活性化 ―地域包括支援センター主体の運営から住民との協働運営へ―

徳永しほ

資料

172 ―― 複数組織の協働による専門職連携教育の経緯と展望 ―宮城 IPE プロジェクトの活動から―

大塚真理子, 志田淳子, 瀬戸初江, 薄井健介, 菅原よしえ, 木村三香, 成澤健, 菅原亜希, 高橋和子, 鈴木まゆみ, 日野弥栄子, 岡田浩司, 渡邊善照, 吉村祐一, 高橋知子, 佐藤厚子, 諸根美恵子, 鈴木裕之, 工藤香澄, 小嶋文良, 西川陽介, 柴田信之

183 ―― 宮城県で発生した新型コロナウイルス感染症患者の特徴 ―第 1 波 88 名の集計から見えた問題点と今後の課題―

西野拓人, 風間逸郎

202 ―― 宮城大学 研究ジャーナル創刊まで ―編集後記にかえて―

茅原拓朗